

■のりかが髪を切った理由【体験版】

フットボールフロンティアで好成績を収めたものの、日本代表に選ばれなかった海腹のりか。更に腕を磨くため、河原の練習場で年下少年たち相手にPK練習をしていた。

「もっと強く打っていいよ！ なんならもっと近くからでもいいから！ え、ちょっと、近すぎ……」

強くなるため、至近距離のシュートを求めたのりか。だがそれが少年たちのプライドを傷付けたらしく、一人の少年に髪を引っ掴まれてしまう。

「きゃっ！ 何するの！ そんなの反則……ああっ！」

【これくらいの手ゲないと特訓にならないでしょ♪】

「だからって……」

むにゅっ♥

「あんっ！」

調子に乗った少年は髪だけでなく胸も掴むという暴挙に出る。

振りほどこうとするが逆に挑発され、のりかはセクハラされたままPK勝負に乗ってしまう。

【のりか姉ちゃんって案外スタイルいいよね】

【スタイルいいっていうか、むちむち系？】

ぎゅむうっ♥ むちっ♥ ぎちいっ♥

「こら、離しなさいっ！」

（この子、人が気にしてることを……！）

【こんな妨害でキーパーできないなら、のりか姉ちゃんのサッカーへの熱意もその程度ってことだよ♪ ほらPKやるよー♪】

「言ったわね……！ もう一点も入れさせないわよ！」

（セクハラなんて最低だけど……強くならなきゃ、何言っても負け惜しみにしかならない……！

ここで完璧にしてみせる！ き……気持ち良くなりそうなんて、考えちゃダメ！

もう、ゴールは割らない……！ どんな必殺技にも、負けたりしない！！）

——……

—————

ぱあん♥ ぱあん♥ ぱあん♥ ぱあんっ♥

「あっ♥♥♥ あっ♥♥♥ あっ♥♥♥ あっはあっ♥♥♥」

ぱんぱんぱんぱんっ♥ ビュルルルル———っ♥♥♥

「おほおっ♥♥♥ またっ♥♥♥ また卵子にっ精子挿れられるうう———っ♥♥♥」

そして敢え無く陥落！

のりかはセクハラ快感に屈し、PK勝負に敗北。罰として股を割られ、卵子というゴールに何度も精子を挿れられていた。実は少年たちはただの生意気小僧ではなく淫魔の末裔！ 淫気ので強制発情させられたのりかは何度も精子を注がれる。

【またオマンコに中出しシュートしちゃうよ〜♪】

「さ♥♥♥ させなひいい♥♥♥ これ以上♥♥♥ 入れさせな……」

ビュルルッ♥♥♥ ビュビュウウウウッ♥♥♥

「おっほおっ♥♥♥ また♥♥♥ また中出しゴール許しちゃうう♥♥♥

負けたくないのにっ♥♥♥ イッ……ぐうううううっ♥♥♥」

淫気の影響で発情させられ、何度となく達する牝GK。

しかし淫気で興奮させられている状態は、逆に意志力さえ保てれば発情も受精も防げるのだが……この状況で何より必要な気合いと熱意と根性が、セクハラ中出しレイプの快感に負けていた。

発情は深まり、髪につながる神経も敏感化。チャームポイントの髪まで穢される——女性としてこれほど屈辱的なこともないはずなのに、精液と肉剛の匂いと熱、脈打つ力強さも感じたことで、更に深い絶頂に達してしまう。

【髪に出すよ！ ふわっふわふわ髪マンコきもちいっ……！】

ブビュルッ♥♥♥ ドブッ♥♥♥ ビュグウウウウ……ッ♥♥♥

「やっ……髪になんて♥♥♥ あはあああっ♥♥♥ ダメえっ♥♥♥ 髪コキぶっかけだけで♥♥♥

イッ……おおおお〜〜〜っ♥♥♥」